答弁第一六四号平成二十九年四月四日受領

内閣衆質一九三第一六四号

平成二十九年四月四日

内閣総理大臣 安 倍 晋 \equiv

衆 議 院 議長 大 島 理 森 殿

衆議院議員緒方林太郎君提出安倍総理の言う「関係」 に関する質問に対し、 別紙答弁書を送付する。

衆議院議員緒方林太郎君提出安倍総理の言う「関係」 に関する質問に対する答弁書

とは、 等に対して様々な便宜を図る中において政治家が応えたのではないかという、これはそういう疑惑だったは 答弁し、また、 の払い下げにも関係ないわけでありまして、なぜそれが当初の値段より安くなっているかということは、こ 前に「いずれにいたしましても、 かということについては・・・、そこに政治の関与があったのかなかったのかと。 れは理財局に聞いてもう少し詳細に詰めていただきたいと思いますし、認可においては、大阪府ですか、 お尋ねについては、 にこれは確かめていただければいいことであって、私に聞かれても全くわからないわけであります」と 何か政治に籠池さん側から依頼があって、そしてそこに何かお金の流れ、 同年三月二十四日の参議院予算委員会において、 安倍内閣総理大臣が、平成二十九年二月十七日の衆議院予算委員会の御指摘 繰り返して申し上げますが、私も妻も一切この認可にも、 「問題の本質は、 言わば籠池さん側が政 それに関して言われたこ まさになぜ安くなったの あるいは国 の答弁の 有地

ずであります。ですから、その中において私も妻も一切関わっていないと言ったのは事実であります」と答

弁したとおりである。